

## 令和2年度 スタートにあたって

学校長 いしわた はじめ 石渡 元

大正中学校3年目となりました 石渡 元 でございます。どうぞよろしくお願い申し上げます。今年の2月中旬頃から新型コロナウイルス感染拡大が国内でも報じられるようになり、3月、4月と『儀式的行事日』に限られた登校となり、臨時休校の日が続いております。一日も早く平常活動ができる日がくることを待ち望んでいます。

さて、平成28年12月に答申された新学習指導要領は、小学校では今年度、中学校では来年度から完全実施となってまいりました。本校では、昨年度より新しい学校教育目標を定め、中期学校経営方針（2019～2021年度）にも組み入れ、教育活動を実践しております。2年目に入る今年度は、昨年度までの学校評価を十分に踏まえ、次のような重点を中心に学校運営を進めてまいります。どうかよろしくお願いいたします。

### 【学校教育目標】

#### 未来に向かって心豊かにたくましく生きるために

- 自らの生き方を創りだし、より広く・より深く考え、課題解決に向けて粘り強く取り組み力をつけます。 (知・開)
- 互いの違いを認め合い、思いやりの心を持ち、自他の生命と人権を大切にします。 (徳・体)
- あいさつを大切にし、社会への視野を広げ、地域や社会に貢献できるようにします。 (公・開)

### 【重点取り組み】

#### 《生きてはたらく知》

授業のスタンダードを徹底し、魅力ある授業を展開して学習に向かう姿勢を身につけさせる。新学習指導要領を研究し、教科横断的なカリキュラムマネジメントを作成すると共に、授業力の向上に取り組む。

#### 《豊かな心》

全学年でローテーション道德に取り組み、道德の授業力向上を図る。スマイルプロジェクトを中心に、生徒自ら、いじめのない学校、明るい学校づくりを進める。

#### 《特別支援教育》

生徒実態調査の活用、個別の支援計画の作成等を通して、生活支援と学習支援を行う。

#### 《特別活動》

生徒会本部、中央評議会でのPDCAによる自治活動を推進する。生徒を中心とした行事などの企画運営により、生徒の自主性を育成する。社会性の育成プログラムを含めた、3年間を見通した計画的な学級活動の実践。

#### 《地域連携》

大中学生の心を育てる活動を継続・充実させ、地域・関係機関と生徒、保護者、職員の連携をより密なものとする。

#### 《いじめへの対応》

いじめ定義を広く周知し、心身の苦痛を感じている生徒・保護者へ寄り添った組織的な対応を図る。道德をはじめとした教科や特別活動との横断的な学習を通して、充実した開発的・予防的いじめ防止対策を図る。